

茂原市学校再編だより

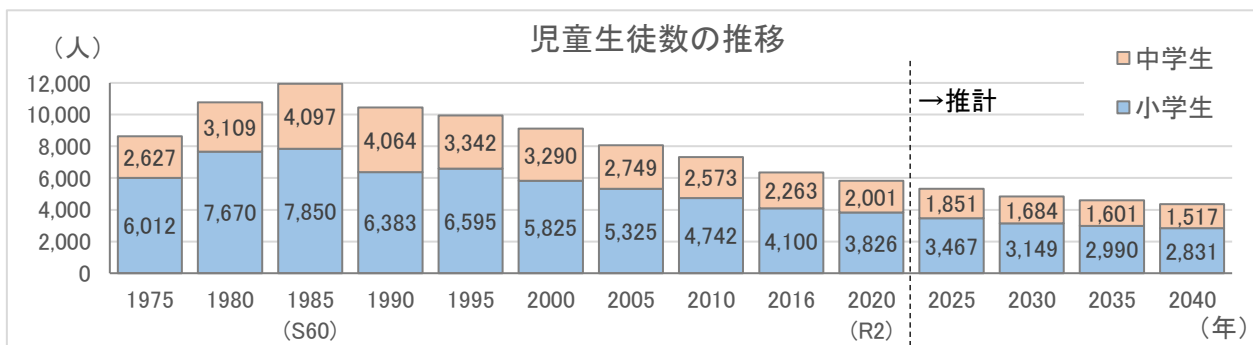
第 1 号

令和 2 年 6 月 発行

学校再編について

少子化の進行により、市内の児童生徒数は、ピーク時（昭和60年頃）の約半分に減少しており、今後も減少傾向が続くものと見込まれます。一方、市内の小中学校の総数は、昭和60年頃からほとんど変わっていません。

子どもたちが集団の中で多様な考えに触れ、互いに切磋琢磨するためには、一定の集団規模が必要で、多くの小中学校が小規模化している現在、学校再編の議論は避けて通れない課題となっています。全国各地でも、少子化に対応した活力ある学校づくりに向けた取り組みが進められており、当市においても、地域や保護者の皆さまのご理解とご協力を得ながら「地域とともにある学校づくり」を進めていきます。



※人口ビジョンの基礎数値を基に推計

茂原市学校再編審議会について



茂原市教育委員会では、子どもたちにより良い教育環境を確保するため、自治会やPTA関係者などで構成される「茂原市学校再編計画審議会」を設置し、保護者アンケートやパブリックコメント等を経て、平成29年3月に『茂原市学校再編基本計画』を策定しました。

そして、その基本計画に基づき、具体的な実施計画を審議するため「茂原市学校再編審議会」を新たに設置し、学識経験者、PTA、自治会など様々な立場からご意見を伺い、また住民意見交換会を実施するなど、各小中学校の保護者やPTA、学校長とも連携しながら、平成30年3月に『茂原市学校再編第一次実施計画』を策定しました。

『学校再編基本計画』

- ・ 策定日 H29.3
- ・ 計画期間 H29～R7年度

『学校再編第一次実施計画』

- ・ 策定日 H30.3
- ・ 計画期間 H29～R2年度

『学校再編第二次実施計画』 (策定予定)

- ・ 策定日 未定
- ・ 計画期間 R3～R7年度(予定)

学校の適正規模について

※茂原市教育委員会会議の決定事項(H27.3)

≪茂原市立小中学校の適正規模≫

- 小学校 12学級以上18学級以下（1学年2学級～3学級）
- 中学校 9学級以上18学級以下（1学年3学級～6学級）



学校再編の方針について

※『学校再編基本計画』記載事項

《学校再編の3つの基本方針》

適正規模の維持

再編後の
教育施設等の充実

通学手段・
安全性の確保

《学校規模ごとの基本的な方向性》

(1) 小学校

全体の学級数	基本的な方向性
1～5学級	速やかに統廃合
6学級	今後児童数の増加が見込めなければ、速やかに統廃合
7～8学級	今後児童数が減少し単学級となる見込であれば統廃合
9～11学級	統廃合や学区の見直し等、適正規模に近づける方策を検討
12～18学級	【適正規模】

(2) 中学校

全体の学級数	基本的な方向性
1～3学級	速やかに統廃合
4～8学級	今後生徒数が減少する見込であれば、統廃合や学区の見直し等を実施
9～18学級	【適正規模】

これまでの取り組みについて

※『学校再編第一次実施計画』実施事項

★西陵中学校と富士見中学校の統合★

西陵中学校は、平成23年度から各学年1学級の状態が続き、各種活動等に影響が出ているため、富士見中学校との学校選択制を導入していましたが、生徒数の増加傾向が見られないことから、令和2年4月1日に富士見中学校へ統合しました。

★二宮小学校と緑ヶ丘小学校の統合★

二宮小学校と緑ヶ丘小学校は、いずれも各学年1学級の状態が続き、今後も減少が続くものと見込まれるため、令和3年4月1日に両校は統合となります。校名は二宮小学校で、使用校舎は緑ヶ丘小学校になります。

これからについて

茂原市学校再編基本計画に基づき、適正な規模の児童生徒数を維持し、子どもたちにより良い教育環境を確保していきます。社会性や協調性を育てていくためには、集団生活のなかで、互いに認め合い、助け合い、競い合いながら成長できる環境を整えることが、大変重要です。そのためには、地域や保護者の皆さまのご理解ご協力が欠かせません。将来を担う子どもたちのために、皆さまのご意見やご要望を踏まえながら、一緒になって学校再編を進めていきたいと考えています。

※このお知らせは、茂原市学校再編審議会における協議内容や検討の状況等について、保護者や地域の皆さまにお知らせするものです。(市ウェブページでもご覧いただけます。)

【お問い合わせ】

茂原市教育委員会 教育総務課 学校再編推進室

電話：20-1557

FAX：20-1607

